

13地区郷土づくり推進会議における意見募集の状況

新たな市政運営の総合指針の策定にあたり、13地区において、郷土づくり推進会議委員を対象に、20年後の藤沢市の姿及び直近4年間に最も重点的に取り組むべきことについて意見交換・アンケート調査を行っています。

12月4日現在、12地区に依頼しており、いただいているご意見は次のとおりです。

1 実施期間

令和2年10月13日（火）から12月17日（木）までの予定

2 提出状況（12月4日現在）

(1) 「20年後の姿」に関する意見

提出者数 94人 意見の数 145件

(2) 「直近4年の重点取組」に関する意見

提出者数 86人 意見の数 161件

3 提出された意見について

(1) 意見の内訳

区分	政策分野	20年後の姿		直近4年の重点取組	
		回答件数	割合 (%)	回答件数	割合 (%)
1	安全な暮らしを守る	22	15.2	23	14.3
2	文化・スポーツを盛んにする	4	2.8	4	2.5
3	自然を守り豊かな環境をつくる	21	14.5	8	5.0
4	子どもたちを守り育む	3	2.1	18	11.2
5	健康で安心な暮らしを支える	20	13.8	19	11.8
6	地域経済を循環させる	12	8.3	9	5.6
7	都市基盤を充実する	17	11.8	18	11.2
8	市民自治・地域づくりを進める	23	15.9	11	6.8
9	その他	23	15.9	51	31.7
合 計		145	100.0	161	100.0

※端数処理の都合上、構成比の合計が100%にならない場合があります。

(2) 意見の概要 (12月4日現在)

ア アンケート「20年後の藤沢市の姿」への意見

	地 区	20年後の藤沢市の姿 (一部要約)
1	六会	・緑あるまちづくり。
2	六会	・子ども・高齢者・障がいのある方なども、生活しやすく楽しい生活が送れると良い。
3	六会	・市民憲章(5項目)を誰もが実感できるまちづくり。
4	六会	・「スマート藤沢」テクノロジーを活用した安心安全で暮らせるまちづくり。 ・福祉行政が他市より暮らしやすいまちの実感。
5	六会	・残されている自然環境の保全と維持活動への市民参加。
6	片瀬	・人口減, 経済低迷の中にあつて, ミニマムな市政への転換を。 ・SDGsのどこに重点を置くかを見据えて施策を立ててほしい。
7	片瀬	・災害時にも強い藤沢市。 ・住民や観光客に安心, 安全を提供できる施設。 ・今後, 順次市民の家を建て替えるとき従来の利用方法に加えて, 災害時多目的利用(例えば, 福祉避難所, 水害避難所等)できる施設を切望。
8	片瀬	・高齢者と若者にやさしいまち。 ・高いビルマンションの少ないまち。 ・工場を誘致すべし。
9	片瀬	・小田急, 江ノ電, モノレールなどの交通機関があり, 移動は容易で利便性が高く極めて住み心地がよいが, 交通量も多く通学路の道幅が狭いため, 十分な道幅を確保してほしい。 ・児童の安全が担保されたまちにしたい。
10	片瀬	・ファミリー層が多く住む活気あるまち。 ・仕事の間が集中して存在するまち(例: シリコンバレー。) ・税収が十分確保でき, 住民のサポートが万全となるまち。 ・湘南の価値を高め, 牽引していくまち。
11	明治	・自然豊かなまちを維持してほしい。
12	明治	・歴史を残しつつ新しい文化, 様式をうまく取り入れて明るいまちになってほしい。
13	明治	・子育て支援の充実に重点的に取り組んでほしい。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
14	明治	・市民が色々な情報を詳しく知ることができているまちになってほしい。
15	明治	・災害のない都市（未然に川の補修工事を行い、どんな大雨にも耐えられる堤防工事等により市民を洪水から守る。）。
16	明治	・南北格差の無い藤沢市全体が、個人ニーズによって住みたい地域があり、藤沢市の何処でも、機能性あふれるまちになってほしい。
17	御所見	・屋根付きの広い公園の整備。
18	御所見	・魅力ある農業に取り組んでほしい。
19	御所見	・高齢者が楽に安心して暮らせるまちづくり。
20	御所見	・南部と北部の格差をなくし北部の開発。
21	御所見	・湘南地域でリモートワークがしやすい環境が整ったまちになっている。
22	御所見	・高齢者が買い物しやすいまちに。
23	御所見	・緑豊かで人にやさしいまち。 ・安全安心なまち。 ・買い物や医療機関に容易に足が運べる公共交通の充実。 ・高齢者が生活しやすい環境にしてほしい。
24	御所見	・豊かな環境。 ・安全で安心して暮らせるまち。
25	遠藤	・これまでの計画の検証を行った上で改定を進めるべき。
26	遠藤	・ゼロカーボンをめざして達成間近であり、気候危機を心配しなくて良い、魚が戻った自然で美しい海のある藤沢。 ・5G、6G、7Gなどない安心安全なまち。
27	遠藤	・普通に暮らしやすいまち。 ・隣近所の顔がわかるまち。
28	遠藤	・クーポンを配布していたが、クーポン取扱い以外のお店はガラガラになっていた（バランスよく。）。
29	遠藤	・便利になるのはよいが農業生産ができる藤沢市であってほしい。
30	遠藤	・農地等の遊休地や温暖化による親水公園の整備での土地の一部を利用し、ソーラー発電パネルを設置してCO2削減をする。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
31	遠藤	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した生活の維持と充実した環境整備がなされた成熟した都市，減少する人口に対応した総合施策の下，豊かさを感じる市民生活の確保がなされている中流意識。 ・公助の範囲の明確化。 ・5G及びデジタル化が進み私たちがこれに順応できるか，意識改革の時代到来。
32	遠藤	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策。 ・自然環境を意識したまちになってほしい。
33	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども，高齢者が安心して歩ける道路の整備。 ・近くに食料が買えるスーパーがある。
34	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中，地域共生社会の実現に向け，支え，支えられ共に生きがいもてるまちを作ってほしい。
35	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・市民誰もが安心して楽しく暮らせるまち。 ・活気あるまち。
36	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の充実した，箱物行政でない，心の豊かさを感じられるまちになってほしい。 ・首都圏に位置しながら，自然豊かな中核都市を望む。これ以上の自然破壊はやめ，人口減少の中でも税収が維持できるように具体策の検討をしてほしい。
37	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画のしっかりした歩道の整備されたまち。
38	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少し増えているとはいえ，高齢化に伴い大幅な税収減による市政運営が難しいと思う。
39	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と市民が一体となって指針を作るべき。
40	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育機会の平等化。 ・高齢者の介護体制の充実。 ・農地・里山等の自然保護。
41	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・社会も学校もインクルーシブであってほしい。
42	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢は文化のまち。今後も，行政が市民に寄り添う基本理念を続けてほしい。
43	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人と高齢者が共生していけるまちづくりで住み続けたい日本一の市にしてほしい。
44	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も安心して散歩できるまち。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
45	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口の減を食い止めるのが最大のテーマだと思う。 ・基本目標6の地域経済を循環させることも大切。
46	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人、高齢者がずっと住んでいたいと思える暮らしやすいまち。
47	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがやりたいことを見つけられ、実施できる環境作り。 ・情報の受発信が容易となるようなICTの推進。
48	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が気軽に行きたい時に行きたい場所へ自由に動けるまち。
49	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体のオールドタウン化を防ぎニュータウンに再生。 ・観光ルートの開発、整備。 ・大庭城復元。
50	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしく楽しく本気でやるまち（若い人の参加、仕事をしていても市民参加が可能になる仕組み。）。
51	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地域の活性化、区画整理がもっと必要。 ・税金だけで賄う時代ではない。10年20年先を見据えて市の財産を計画的に活用していくことを検討すべき。
52	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスゼロのために自然エネルギー100%利用。 ・若い世代が活躍できる多くの会社がある。 ・自然を残した環境。 ・食料自給率の向上。
53	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・13地区それぞれで、今まで暮らしてきたところで、引き続き静かに暮らせるようになるといい。 ・将来の人口推計（人口構成）に見合った予算配分をしていくべき。 ・将来、心豊かに過ごせるよう今から手を打っておくべき。
54	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・老後が安心して暮らせるまちに。
55	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・鵠沼奥田線が計画道路として位置づけられているが、どのように扱うのか。
56	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の中に「豊かな環境をつくる」とあるが、環境といっても様々な環境がある。鵠沼地区では海岸もあるので「豊かな自然環境をつくる」としていただけるとわかりやすい。
57	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況とあるが、やりたいことはたくさんある一方、どうやって切り詰めていくのかが見えづらい気がする。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
58	鵠沼	・現状維持で十分。
59	鵠沼	・ニューノーマルへの対応などを踏まえて、3つのまちづくりコンセプトを追加予定とのことだが、3つのコンセプトでのコロナとの関係性が見えづらい気がする。
60	鵠沼	・湘南というゆるやかな雰囲気の中で、多様性のある様々な人々がお互いを認めて助け合って生活していけるまちに。
61	鵠沼	・分譲等により緑が消えつつあるため、市の管理地だけは緑を残してほしい。
62	鵠沼	・シンボリックな活動やイベントがあり、市民が日常生活の中で自然と取り組んでいるまち、それを市の自慢、誇りとして発信する。
63	藤沢	・都市マスタープランでは、藤沢駅周辺を都市拠点としているが、藤沢駅周辺だけでなく本町駅周辺までを一体に捉えてほしい。
64	藤沢	・安全安心に暮らせる藤沢。
65	藤沢	・すべての市民にとってやさしい暮らしやすいまち。
66	藤沢	・認知症にやさしいまち。
67	藤沢	・自然災害に耐えるまちづくり、自治会、町内会単位で避難場所対策をつくる。 ・スマホ活用により、必要な場所（買い物、医療、金融）へ移動できる交通手段をつくる。 ・互助の精神を自治会単位で発揮できる組織強化。
68	藤沢	・SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」まちになってほしい。いわゆる弱者をつくり出さない取組を続けた成果のあるまちに。
69	藤沢	・犯罪、災害のないまちづくり。 ・高齢者が増えるので、核家族化による医療、介護の問題。 ・空き家対策。 ・町内会の役員不足、不参加、隣近所の交流不足。 ・公民館まつりのようなイベントを増やすこと。
70	藤沢	・藤沢型地域包括ケアシステムに守られて不安のない充実した老後の生活が送れ、住んでいて良かったと言われる藤沢市になってほしい。 ・明治地区で実証実験中の高齢者の見守りシステムを藤沢地区の郷土づくりでも取り組み始め研究中である。近い将来藤沢市全域で高齢者の見守り活動を実現させたい。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
71	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現をめざす。 ・高齢者や子どもが安心・安全に暮らせるまちづくり。
72	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の人たちを「住みたいまち」藤沢に誘導する「まちづくり」 ・積極活動する町内会、自治会への衣替えが今後ますます課題になる。今こそ市民が喜んで活動する真の「藤沢市型町内会、自治会」づくりを始め、そのことが藤沢市転入希望者への誘導ポイントの一つになると思う。
73	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく活気のあるまち。
74	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えた交流の場が欲しい。 ・市民の家の活用をもっと多くし、憩いの場にしてほしい。
75	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・これといった期待はない。
76	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に暮らせるモラルのあるまち。
77	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市の民度の高さを20年後も維持されることを期待する。他市からやってくる人たちが従う「藤沢の掟」のようなものがあったても良い。市民の力でトライするしなやかさを持ったまちになってほしい。
78	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致，地域経済の活性化に取り組み，財政状況を良くする。
79	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまち。
80	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の環境整備（人・車・車椅子が通りやすくしてほしい。）。
81	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩していて楽しい，どこの家からも緑葉が覗いていて鳥のさえずりが聞こえるようなまちになってほしい。
82	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちをのびのびと安心して育てられるような環境，支援をし，高齢者数以上の若者のまちになってほしい。
83	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる「ふるさと」。
84	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に優しい住みやすいまち。
85	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して日常生活を送れるように。
86	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で誰もが住みやすいまち。
87	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・南部（辻堂地区）は道路整備等されているが，北部も大切にしてほしい。
88	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に力を入れたまち。 ・教育に力を入れたまち。 ・ITの利用で進んだまち。

	地 区	20年後の藤沢市の姿（一部要約）
89	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かし持続可能なまちに。 ・地元で採れた新鮮な食品で、いつまでも藤沢で生きていたいと思えるまちに。
90	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが幸せに楽しく暮らせるまち。
91	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の長い都市。 ・若い人が希望を持って活躍できる都市。
92	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部だけでなく、市の外れの交通の便が良くなってほしい。
93	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいまち。 ・生活環境がよい魅力のあるまち。
94	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・働ける企業があること。 ・安全安心な地区であること。 ・人と人のふれあいが豊かなこと。

※アンケートのほか、意見交換当日にいただいたご意見も含まれます。

イ アンケート「直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと」への意見

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
1	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行区分帯の整備。 ・携帯電話（ながら使用の取り締まり。）。)
2	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市独自の新型コロナウイルス感染症対策を進めてほしい。
3	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・東海地震への津波等災害対策。 ・観光と景観の両立。
4	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害（地震、大雨、強風等）に強い体制づくりと、各地域と情報共有できる体制。
5	六会	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の先生がIT授業の技能を身につけ、生徒が100%タブレットを活用できるようにすること。 ・災害、避難所の定員、対応の質の見直し。
6	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の充実（市独自の社会保障制度の充実。）。) ・コロナ禍で経済的影響が大きくなる中、ひとり親家族、個人事業主への支援を。 ・SDGs。
7	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のデジタル化、特に各市民の家の有効活用、インターネットWi-Fiの開設、設置。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
8	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsは何を目標にするのか。 ・FAX回答は時代遅れ，電子化すべし。
9	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市（町田，相模原，大和，鎌倉，横浜市栄区，茅ヶ崎など）と連携して河川のごみの流入防止と継続監視するシステムを構築し，拡大してほしい。 ・個人情報保護法の藤沢市なりの運用を定め，独居老人，高齢者夫婦，知的障がい者，肢体不自由者の，津波，地震発生時の安否確認，救助の優先順位を決めてほしい。
10	片瀬	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業誘致による，湘南地域のブランド向上と税収増（IT関連事業を中心としたエリアを造りブランド化し，エンターテインメント，レジャー関連ビジネスを呼び込む基盤を作る。）。 ・ファミリー層が住みやすいまちづくりを行う。 ・不要不急事業に予算はつけず，メリハリをつけ，前向きなものに金を使う。
11	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての充実。 ・福祉の充実。
12	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民がデジタルに対して前向きに勉強する。
13	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の強化（新しい生活様式における新しい防災。）。
14	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断受診率100%をめざし，医療費の削減につなげる。
15	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。
16	明治	<ul style="list-style-type: none"> ・遠藤地区の市街化に向けての相鉄の延伸。 ・慶應義塾大学との連携。 ・市民会館の建て替えでの，魅力のある計画。 ・村岡新駅の具体化。
17	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が暮らしやすい地域になってほしい。
18	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物の価格安定に取り組んでほしい。
19	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・御所見地区の買い物難民対策。
20	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・医療設備の充実。
21	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の住みよいまちづくり。 ・行政の簡素化。
22	御所見	<ul style="list-style-type: none"> ・行政デジタル化の促進と市内どこでもWi-Fiが使用可能になること。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
23	御所見	・農業の存続対策の取組。
24	御所見	・子育て支援の充実。 ・空き家対策。
25	遠藤	・環境を配慮した大規模な改革をしたまちづくりと、緑を作る条例がほしい。
26	遠藤	・相鉄いずみ野線延伸の具現化。
27	遠藤	・相鉄いずみ野線の慶應義塾大学までの延伸。
28	遠藤	・自治会組織の構築（加入に対する市の指導）、向こう3軒両隣活動。 ・美化推進活動。 ・道路と歩道間の植え込みの対策。
29	遠藤	・固定資産はメンテナンス費用を計上してから取得してほしい。 ・環境整備ができていない（4年後はできるといい。）。
30	遠藤	・自治会等、市の仕事で使えるパソコンがあるとよい（自由に使える事務所的なもの）。 ・役所や公の場所ではWi-Fiが使えるようにすべき。
31	遠藤	・大規模災害での避難で、避難行動要支援者について、自治会に未加入世帯が増える傾向にあり、民生委員は地区内対象のため、両者を含めた組織が必要。
32	遠藤	・無駄な支出を削減し、少なくとも「現状を維持すること」に重点的に取り組んでほしい。
33	長後	・藤沢市の各部署や各課の横のつながりを作って情報が柔軟に通じるようにし、縦割り行政の廃止。
34	長後	・新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んでほしい。
35	長後	・新型コロナウイルス感染症対策。 ・高齢者にもわかりやすいデジタル化の推進。 ・障がい児者、高齢者が安心してまちへ移動できる交通網の整備。
36	長後	・健康第一にする施策のアイデアを出し合い、実現する施策をしてほしい。 ・50代から70代までの世代に積極的DX改革を進めるべき。 ・行政もメール、リモート等を利用できるように。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
37	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が希望を持てる子育て支援の充実。 ・中学校に給食を。
38	長後	<ul style="list-style-type: none"> ・地震対策に対する上下水道の耐震管の交換。 ・高齢化による買い物不便地域へのコミュニティバスの運行（どこの地域も路線バスの廃止で買い物に困っている人は増えている。）。
39	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いコミュニティを作る。 ・新型コロナウイルス感染症による生活困窮者への支援。
40	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちをつくる。
41	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・13地区郷土づくりの委員と年3回くらい話し合いを持って欲しい。
42	善行	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実（行政や企業の思い切った改革によって子育てしやすい市をめざしてほしい。）。
43	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・全市民に対して定期的なPCR検査の実施。
44	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実。
45	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸のためのフレイル予防の周知への取組。
46	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・辻堂駅と健康と文化の森を結ぶ定時運行できる交通手段の確保。
47	湘南大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・民生委員・主任児童委員の強化。
48	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・税込安定のため企業の育成。
49	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・人を育てる（挨拶，信頼，尊敬。）。 ・先を見据えるぶれない指導力。 ・自然環境との共力，共有，共賛，共生等を最大限に生かしていけたらいい。
50	湘南台	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの歩道の整備。 ・防災（減災）のための準備の見直し（再整備。）。 ・100t水槽運用の見直し（市民による始動の可能化。）。 ・各地区，全避難施設の収容人数の再計算。
51	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート行政。 ・収入増へのアプローチ。
52	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化と，それによる税収の向上による財政の改善。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
53	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・市税はあくまでも平等に活用することを望む。 ・市税も確保するために市債の発行はやめてほしい。 ・法人税等の税収を上げられる施策が必要。
54	鵠沼	<ul style="list-style-type: none"> ・市のシンボルである「海」から派生して「自然環境を徹底的に守り育てる藤沢市」のための取組を強化してほしい。 ・地球環境を守る重要性についての理解を深め、豊かさ・便利さを追求してきた生活のダウンサイジングの取組（環境負荷を軽減する取組）の強化。
55	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・今後発生する可能性が高い大地震や温暖化に伴う台風や洪水に対する対策。 ・ひとり暮らし高齢者の見守り。
56	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な暮らしを守る。 ・健康で安心な暮らしを支える。 ・子どもたちを守り育てる。
57	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと宿場町再建に力を入れてほしい。
58	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者・避難行動要支援者と市の緊急連絡装置。 ・監視カメラや防犯灯設置などの防犯対策。
59	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者，退職者が地域貢献できる役割グループをつくり，スマホ，パソコンの講師として活躍する。 ・高齢者の初期段階で体力維持できる場を周知して活用させる。 ・自然を大切に後世に伝える。 ・歴史を大切に後世に伝える。
60	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想に合わせた社会教育を。 ・コロナ禍に応じた意見集約の方策として Zoom などの活用。 ・オリンピック・パラリンピックのレガシー含む歴史的遺産の保存，活用。
61	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢宿を守り育てる（言葉だけではない具体的な取組が必要。）。 ・行政のデジタル化（職員とメールのやり取りができるように元のシステムに変えてほしい。）。
62	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ，アフターコロナ時代を踏まえ，藤沢市の南北に感染症の外来診療/専門病棟と軽/中等症の施設を早急に整備し，市民病院を一般病気の病院として確保に取り組んでほしい。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
63	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策が遅れている。 ・施設人が訓練不足。 ・町内会の会長が任期1年で代わる例が多く、町内会がうまく運営できてない。 ・町内会同士交流して仲良くなるとよい。 ・ボランティア活動の推進。
64	藤沢	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・子どもと高齢者が安全に暮らせる対策（交通事故減少や行方不明者をなくす。）。
65	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実。 ・防災対策。 ・高齢者向け医療の充実。
66	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・教育力アップ。 ・高齢者の活用，動けるうちにボランティアを。
67	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと収入源を確保し，充実していくこと。
68	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯が住みたいと思えるまちづくり。 ・新型コロナウイルス対策に積極的に取り組むべき。 ・モラル優先のまちづくり。
69	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・教育対策。
70	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難行動要支援者対策の個別支援計画については，市の主導により進めてほしい。
71	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策。 ・災害対策。
72	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策（予防注射ができるようになったら全世代無料にしてほしい。）。 ・子育てと同じように高齢者，障がい者も生活しやすい環境を進めてほしい。
73	村岡	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的に助けを必要とする人たち（幼児，障がい者，高齢者）に優しい社会を作ってほしい。 ・情報端末の扱い方を市が主導して高齢者に行き渡らせてほしい。
74	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のPCR検査が簡単にできるように。 ・南北地域の交流をもっと盛んに。

	地 区	直近4年間に最も重点的に取り組むべきこと（一部要約）
75	無回答	・新型コロナウイルス感染症が収束するよう重点的に取り組んでほしい。
76	無回答	・行政のデジタル化は急務と考える。
77	無回答	・自然災害、震災の対策、市民への情報提示（シミュレーション映像等）。 ・農地，自然の確保。 ・職員の教育，適切な人事。
78	無回答	・辻堂駅 C-X 周辺の土日の渋滞の緩和。 ・東海道を横切る南北道路の整備。
79	無回答	・子育て。 ・高齢者福祉。 ・環境。
80	無回答	・新型コロナウイルス感染症対策。
81	無回答	・子育て支援（子育て世帯すべてに反映させるべき）。 ・北部について，農業産業を売りにする（新しい取組）。 ・少年の森（川崎のような楽しい公園づくり，夢パークや大師公園等子どもを育む内容）。
82	無回答	・新駅，村岡新駅の取りやめ。
83	無回答	・ボランティア，ヘルパーなどのなり手が減っており，増やす対策。 ・子どもの貧困をなくす。 ・誰もが移動しやすい交通の充実（免許返納者が増えるよう，バス路線の充実，自転車専用道の充実）。
84	無回答	・デジタル化は反対（子育てと高齢者の世話が30～50代にのしかかっている）。
85	無回答	・社会保障が安心できる市。 ・高齢化に伴い公共インフラの整備。 ・若い人が住みやすい魅力のあるまち。
86	無回答	・何人も生きる収入を得られる。 ・健康で暮らせる取組を。 ・安心して暮らせる取組を。

以 上